

円卓会議 第2パネル

「日本社会が選ばれるために—
“外国人”のライフプラン」
問題提起

アンジェロ・イシ (Angelo Ishi)
武蔵大学

2022.2.14

1990年より日本で移民研究と 移民の「代弁」(?) を

- 総務省『多文化共生の推進に関する研究会報告書 ～ 地域における多文化共生の推進に向けて ～』(2006年)
 - 私は地域住民の意識啓発も必要だという点を主張した。
- 2010年に分科会コーディネーターを務めた『外国人を受け入れる地域社会の意識啓発に関する提言』(外務省、神奈川県、国際移住機関(IOM)主催の国際ワークショップの成果物)
 - その意識啓発に向けた具体的な提言を盛り込むことができた。
- コミュニティのオピニオンリーダー？
 - ブラジル系雑誌でコラム連載、在日ブラジル人全国ネットワーク顧問、在東京ブラジル総領事館「市民代表者会議」評議員など。
- 最近「日本語教育推進法」の有識者会議の委員(文科省・文化庁)、法務省の「在留外国人に対する基礎調査に関する有識者会議」構成員。

“外国人”にとって生きやすい日本になるには(続き)

2) 日本在住の中長期滞在者に里帰りしやすくしなければ!

→「いつでも帰れるという安心感があるから、日本に長く住める」という大前提が、コロナの水際対策で崩壊した。

→「一時帰国・再入国を阻む壁」：パンデミック初期においては、G7諸国の中で日本だけが定住・永住者に厳しい「再入国の壁」を強いるという冷遇を。これには多くの在住外国人が失望、幻滅。



日本とブラジルで引き裂かれた家族を特集した記事

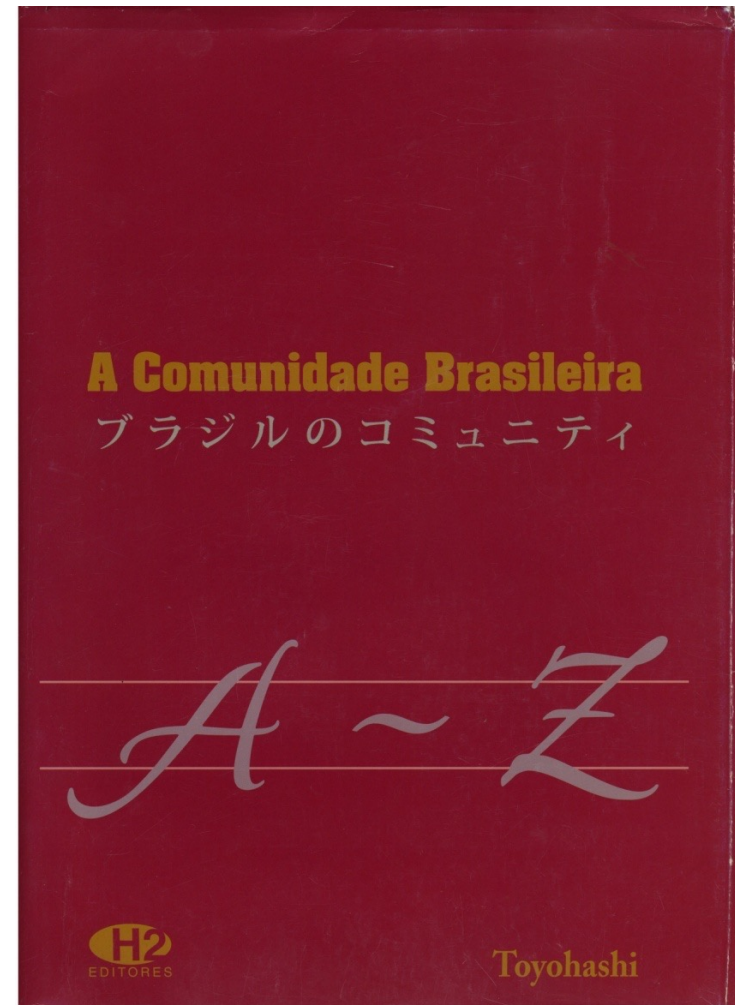


“外国人”にとって生きやすい日本になるには(続き)

- 「里帰り」を阻むのは水際対策だけではない。家族の事情で仕事を休むことが冷たい目で見られるゆえの「自粛文化＝同調圧力」も。例：サッカー日本代表の監督だったジーコが、母親の死去で葬儀のためにリオに緊急帰国して公式試合の指揮を手放した時の「世論」によるバッティング。
- 多くの“外国人”が日本を“選ばない”もう一つの理由は「**ライフワークバランス**」を確保することの難しさ。「ライフワークバランス」については、24時間の時間配分や1週間の中での余暇確保に関する議論が多いが、在日外国人にとってはこれらに加え、1年の中でどのくらいまとまった**数週間単位の長期休暇**が取れるかが死活問題。
- そもそも圧倒的多数が「**非正規雇用**」の身分から抜け出せない中では、労働条件の各改善策の恩恵が受けられている“外国人”は一握りに止まっているのが現状。

移民のライフプランを考える上では、「**個人**」ではなく「**家族**」単位の課題や戦略を考える必要が

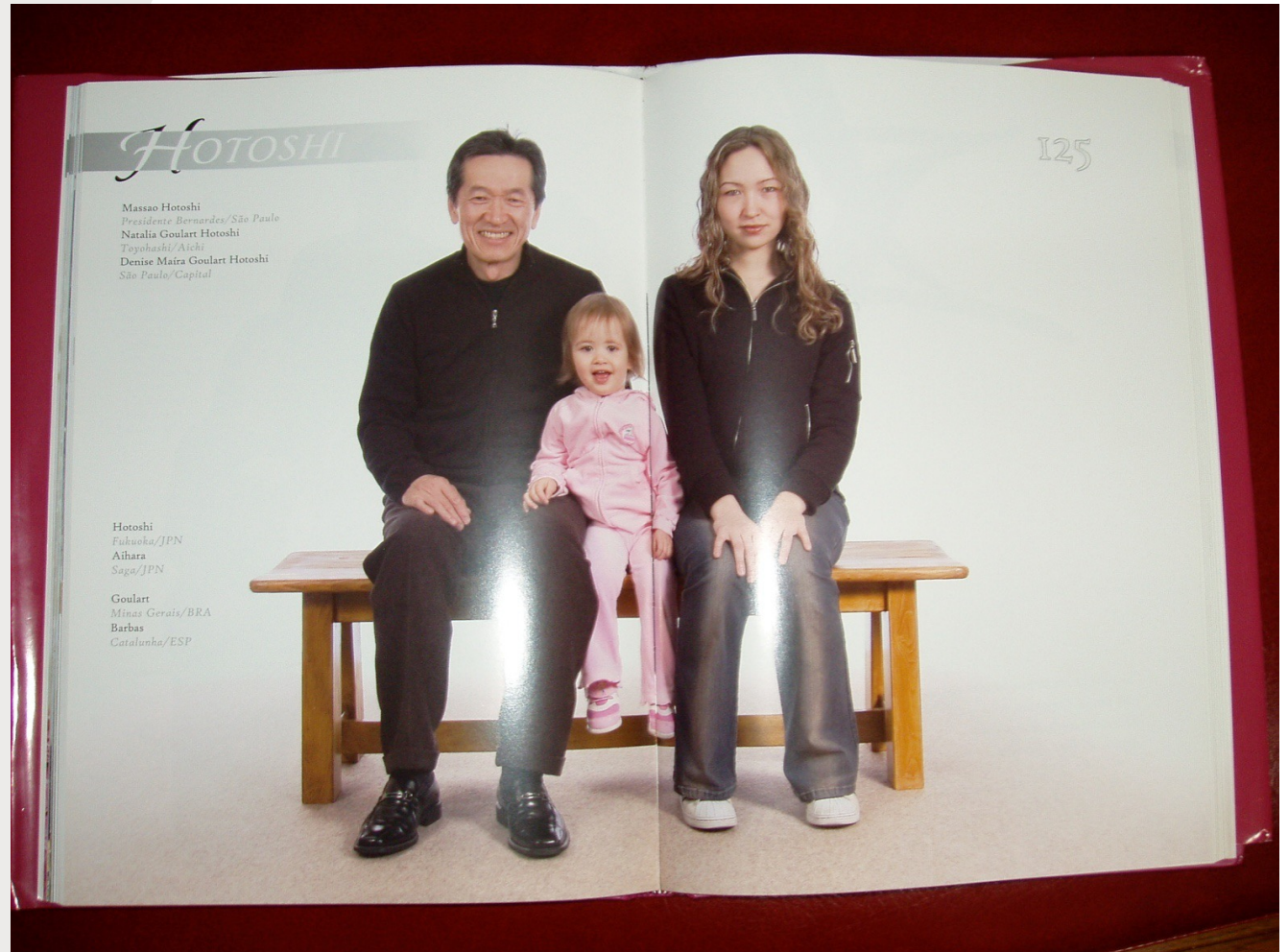
- 多くの在留資格（**特定技能第一号**、「**日系4世ビザ**」など）で「**家族の帯同**」を禁じることは大問題。
- 愛知県豊橋市在住の在日ブラジル人が「移民家族」の写真集は示唆的。



- 私たちの真ん前に、三世代の家族が。すでにリタイアして生産年齢人口ではなく、なった高齢世代の彼も、その個人だけを指せば、日本経済にとって「お荷物」として後指を指されがちだが、「点」ではなく、時間軸という「線」で捉えれば、彼は数十年、十分に日本経済に貢献したし、「個人」ではなく「家族」単位で捉えれば、今でもその息子や娘世代が現在進行形でたっぷり経済貢献していることが見えてくるはず。



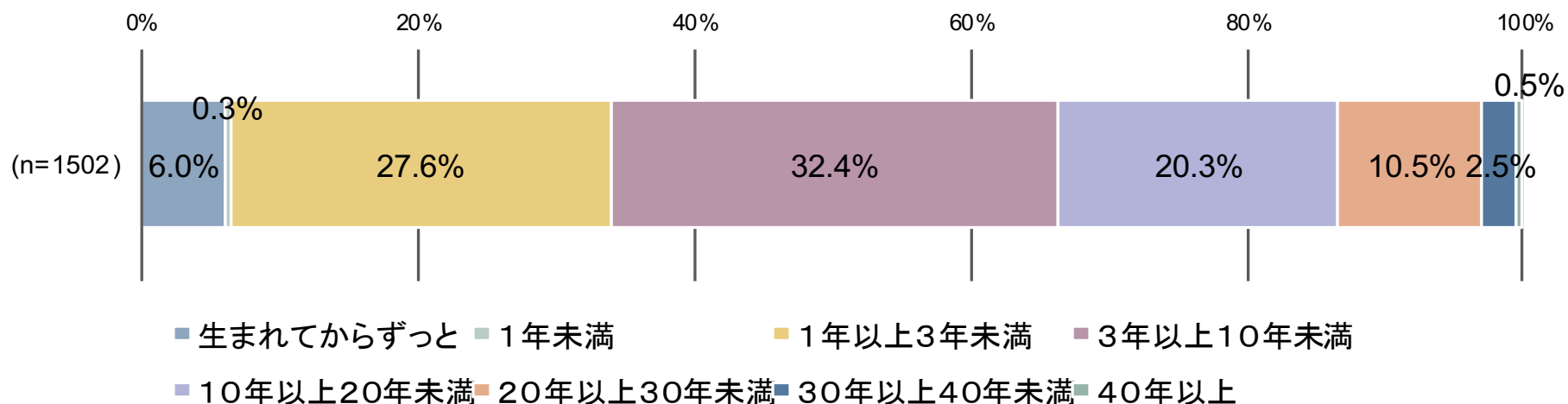
- この写真集を考案した日系ブラジル人と、パートナーと、その娘。娘さんを安易に「ハーフ」や「外国人」と呼んでいいのだろうか？



政府（法務省）が実施した「在留外国人に対する基礎調査」報告書より 抜粋

日本での通算在住年数（単一回答）

日本に住んでいる期間の合計（以下、「日本での通算在住年数」と言う）をみると、「10年以上20年未満」（20.3%）となっている。



数十年単位で日本に在住する人もはや珍しくない

- 政府（法務省）は「共生社会のための総合的対応策」の一環として、大規模の「在留外国人に対する基礎調査」を実施。私もこの調査の有識者会議のメンバーに招かれた。
- 報告書は通算滞在歴が「3年以上10年未満」の割合が最も高い（32.4%）ことを強調。
- 私はむしろ、3%「もが」30年以上滞在しているという点に注目を促したい。また「20年以上30年未満」が10.5%というのも決して低い数字だと思えない。
- 3割以上が10年以上、日本に。
- **高齢化問題や「終活」、「墓活」が切実な問題に！**（出身国にも日本にもお墓が用意できていないなど、無数の課題が）

移民の「二刀流」の生活実践や文化保持をもっと肯定しよう！

- 例えば、今日（2月14日）はバレンタインデー。
- 日本ではバレンタインとホワイトデーを2月と3月に祝うが、ブラジル人は6月12日の「恋人の日」も大切にしてお互いにプレゼント交換もする。移民はどちらかのカレンダー文化を捨てるのではなく、両方を踏まえて複数回祝うという「二刀流」（足し算）の論理による、豊かな文化的実践を貫いている！
- トランスナショナルな生活でダブルな文化とアイデンティティの実践は可能。



多様な価値観や生き方を容認する「器の広さ」が欲しい

- せっかく多様な文化的バックグラウンドを有する人々の可能性を押し殺すのはあまりにももったいない話ではなからうか。
- 移民を受け入れることのメリットは「経済」や「労働」面での貢献に止まらないはずだ。
- 広義の「イノベーション」の担い手になる可能性は無限にあり得る。



朝日新聞の「フロントランナー」

豊田市の有名な保見団地で撮影

- その団地でいわゆる「移民の第二世代」の子どもたちがサッカーを。
- “移民第二世代”の未来は？



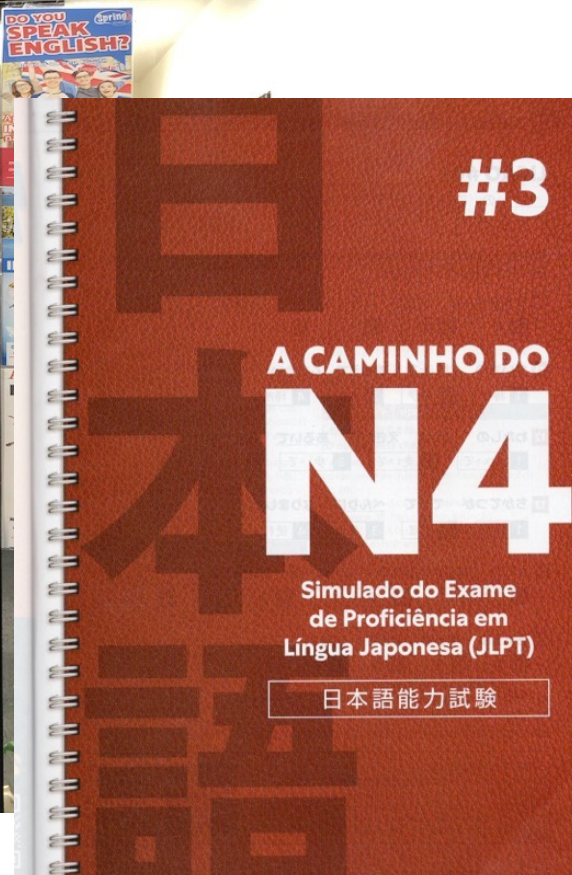
大学への進学は
まだ狭き門…



- 移民の**第二世代を「高度人材」として育てる**、つまり日本の生え抜きの“高度外国人材”という発想もあって良いのでは。
- もっと言えば、非熟練労働者のままりタイアしてしまっている**移民第一世代のキャリアアップ**もまだ十分間に合うはず！

例えば保見団地の中には、ブラジル人向けの英語スクールが。看板には「自分の未来に投資しよう」と。英語力を有する人は意外にも多い。

もちろん、日本語学習熱も高まっている。ブラジル系エスニックメディア(Alternativa)の特集への反響がそれを裏づけている。



日本に住むブラジル人の知られざる「リカレント教育」：
ブラジルの大学をオンライン（遠隔）教育で卒業するとい
うトランスナショナルな実践も。

**ESTUDE NO BRASIL
SEM SAIR DO JAPÃO.**
CURSOS DE GRADUAÇÃO E PÓS-GRADUAÇÃO

“GRACIAS À INTERNACIONALIZAÇÃO TIVE
EXPERIÊNCIAS QUE ME ENRIQUECERAM MUITO.”

Marcos Vinícius
Estudante de
Filosofia em
intercâmbio para
UCB na cidade de
La Cruz, Espanha.

**DEIXE
SUA
MARCA**

**CATÓLICA
VIRTUAL**
Universidade Católica de Brasília

CURSOS DE GRADUAÇÃO
ESCOLA DE EDUCAÇÃO,
TECNOLOGIA E COMUNICAÇÃO

- Licenciatura em Letras
- Licenciatura em Pedagogia
- Programa de Formação de Professores (PROFORM)
- Tecnologia de Análise e Desenvolvimento de Sistemas
- Tecnologia em Gestão da Tecnologia da Informação
- Tecnologia em Segurança da Informação

ESCOLA DE GESTÃO E NEGÓCIOS

- Bacharelado em Administração
- Bacharelado em Ciências Contábeis
- Bacharelado em Ciências Econômicas
- Tecnologia em Comércio Exterior
- Tecnologia em Gestão Financeira
- Tecnologia em Gestão Pública
- Tecnologia em Gestão de Recursos Humanos
- Tecnologia em Gestão de Turismo
- Tecnologia em Logística

ESCOLA DE HUMANIDADES E DIREITO

- Bacharelado em Filosofia
- Licenciatura em Filosofia
- Tecnologia em Segurança Pública



おわりに：いくつかの追加提言

- **言葉の壁** → 情報の多言語化 + やさしい日本語 + 日本語学習（足し算の論理）。何より、**翻訳・通訳の質保証**！
- **制度の壁** → 国籍法を改正して**複数国籍**を認める。最低でも部分的**生地主義**を導入（永住者の子として日本で生まれれば、日本国籍を付与）
- **心の壁** → 政府は大胆な反差別の意識啓発キャンペーンを。メディアは大人の多文化教育を。学校では子供たちに“外国人”への寛容性を育む教育プログラムを。
- 民間でも各業界ですぐに実践できることは多い。たとえば顧客が**「名前」を記入する欄がさまざまな国の人々の長い名前に対応できているか**を点検し、フルネームが書けるようにスペースを増やすなど、入力フォームの設定改善というちょっとした工夫で“外国人”の暮らしやすさに劇的な効果が。（例：娘の習い事の修了証書で肝心なファーストネームが途切れて彼女はショック…先方は「システム上、6文字までしか入らないのでごめんなさい…」）。

おわりに 続き（時間の余裕があれば）

- →いわゆる「エスニックメディア」（在日外国人がそれぞれの母語で発信している雑誌やデジタル媒体等）を代弁する人はあまりいないので、この際、注目を促したい。エスニックメディアは多くの移民にとって重要な生活インフラだが、その主な収入源は日本企業が出す求人広告なので、コロナ禍により広告が激減し、経営基盤も脆弱なので存続の危機にある。コロナ情報を提供する政府広告や公共広告を出してもらえればありがたい（在日外国人が日本社会とつながるために頼りにする存在であり、支援は公益にもかなう）。

おわりに 続き
(時間の余裕があれば)

例えばこういう グッドプラクティスが

・ブラジル系エスニックメディアの代表格、Alternativaというフリーペーパーに、厚労省が有料の広告を掲載。

「あなたがコロナで仕事を失ったのなら、ハローワークに相談してみてください！」

ポルトガル語で相談可能だと告知。

・私が提言してきた「公助」の一つの理想的な形。こういう試みを各方面において増やすことが望まれる。

**Você perdeu ou saiu do emprego devido ao coronavírus?
A Hello Work pode te ajudar!**

Aqui na Hello Work temos uma equipe de funcionários (Intérpretes em algumas regiões) que pode ajudá-lo, gratuitamente, a encontrar um novo emprego. Se estiver passando por problemas relacionados ao emprego, temos agências da Hello Work em todo o Japão, procure a mais próxima da sua casa.

Temos tradutores que falam português nas agências da Hello Work e também pelo atendimento telefônico. Damos total assessoria para o Seguro-Desemprego, um auxílio em dinheiro que o governo oferece enquanto você procura uma nova colocação.

O que você pode consultar na Hello Work?

- Informações de OFERTAS DE EMPREGOS
- Suporte e apresentação à empresa que deseja trabalhar
- Procedimentos de SEGURO-DESEMPREGO

Hello Work com atendimento em português
<https://www.mhlw.go.jp/content/000673009.pdf>

Agências da Hello Work no Japão
<https://www.mhlw.go.jp/content/000637894.pdf>

Hello Work com tradutores e intérpretes
<https://www.mhlw.go.jp/content/000592865.pdf>

Mais informações sobre a covid-19
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jigyounushi/page11_00001.html

Significados e Termos relacionados ao trabalho e Seguro Social
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/jigyounushi/tagengoyugosyu/portuguese/index.html

**VAMOS EM FRENTE!
JUNTOS EM DIREÇÃO AO FUTURO**

MHLW Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

ご清聴ありがとうございます
ございました

OBRIGADO!